

令和8年度

三縄小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 各教科等の特質を活かし、子どものやりたい・やろうという気持ちを引き出す授業の実践
- 互いに認め合い、話し合い、学び合える授業の実践

校長

藤岡 浩

学力向上推進員

川崎 瞳

【各校の取組状況の把握について】

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

取り組みをレポートにまとめたり研究授業を行ったりすることで、取り組み状況や子どもの変容を共有する。

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○課題に対して真面目に取り組む児童が多く、学んでいるときには基礎的・基本的な知識・技能が身に付きつつある。 ●知識の定着に課題がある。 ●文章を正しく読み取ったり、身に付けた知識等を関連付けたりすることに課題がある。	・ 習得した知識を他の学習や生活の場面で活用することができる。 ・ 基礎的 基本的な知識 技能が定着できるようにする。 ・ 文章を正しく読み取ったり、身に付けた知識等を関連付けたりすることができる。	・ 漢字や計算は繰り返し復習する機会を設ける。 （復習の方法：できなかった問題を自分でときなおす時間をとる。短文作りや日記で学習した漢字を使うようにする。朝活の時間にあわスタの活用をする。） ・ 分からない漢字は調べるように促す等、学習の方法を学ぶ機会を設ける。 ・ 家庭学習や朝学でステ学に取り組むことにより、自分の苦手な問題に取り組む機会を設ける。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の気づきを相手に伝えたり、聞いたりすることができる。 ●自分の学びを言語化することに課題がある。 ●自分の思いや考えを根拠も含めて、相手にわかりやすく表現することに課題がある。	・ 自分の意見を伝えることができる。 ・ 話し合いをし、自分の考えを深めることができる。 ・ 学習した語彙を使って文章を作ったり、自分の意見を伝えたりすることができる。 ・ 根拠を含めて自分の考えを伝えることができる。	・ 子ども同士で話し合う場を設ける。 ・ ふりかえりの型を決めることで、自分の学びを言語化できるようにする。 ・ 授業の中で問い直しをすることで、考えの質を高めていく。 ・ 心情メーターや思考ツール等を使うことで、自分で意見を整理して伝えられるようにする。 ・ 教員が子どもの思考を見取る方法のバリエーションを増やす。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○各授業に一生懸命取り組むことができる。 ○すすんで読書に取り組むことができる。 ●興味関心に偏りがあり、興味がないことには粘り強く取り組める児童が少ない。 ●苦手な課題や難しい課題に対して、粘り強く取り組むことができる児童は少ない。	・ 計画表を見ながら自分で学習を進めることができる。 ・ 自分の考えをふりかえて学びを深めることができる。 ・ 苦手な課題や難しい課題に対しても、粘り強く取り組むことができる。 ・ 授業の前に次の授業の準備をして、今日学ぶ内容を考えることができる。	・ 教師との学習をもとに自分で学ぶ経験を積み重ねる姿を目指す。 ・ 子どもが自分で学びを進める姿を目指す。 ・ 学習のふりかえりをする。 ・ 子どものよさを見取ったり価値づけたりする。 ・ 学習過程の共通理解のもと取り組みを進める。			